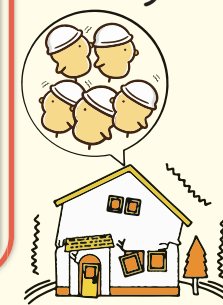


緊急地震速報です

あなたは自宅にいます



災害時、どこに避難する？（自宅編）



自宅に安全が確保できる？
（倒壊や津波等の危険はないか確認）

はい

自宅にとどまる

自宅が安全な場所にあり、倒壊の危険がない場合には、災害時は家から出ないことが一番。不安が少しでもあれば自宅外へ避難しましょう。

「浦添市防災マップ」で自宅の安全性を確認！色がついているところは危険なところ。左の凡例をみてどんな危険があるか確認しておきましょう。

やってみよう！...の
ステップ1へ



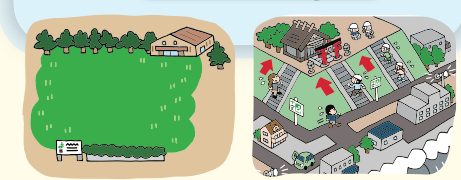
一時避難場所へ

災害による身の危険から命を守るために、緊急的に逃げる場所。必ずしも市が指定した場所である必要はない。

「浦添市防災マップ」で、市の指定している避難場所を確認！自宅から避難場所までの経路に危険がないかも確認しましょう。

市が指定した場所の他にも、地域の広い場所や高い場所はないか、周りの人と話し合ってみよう。

やってみよう！...の
ステップ1へ



警報が解除されたら、自宅を確認して

自宅で避難生活ができる？

はい

判断基準① 自宅の危険を見極める
・自宅の建物や周囲（隣の家の斜面）に崩壊などの危険がある
・家具や食器などが散乱しているか？

いいえ

判断基準② 自宅で生活できるか確認
・生活していくうえで他人のサポートが必要か？
・必要な備蓄品があるか（使える状態か）？

自宅以外に避難先がある

いいえ

在宅避難



自宅が安全であれば、在宅避難の方が普段に近い環境で過ごせます。在宅避難者でも地域防災拠点でトイレの使用や物資の供給を受けることができます。

在宅避難するために必要なことは？

- 最低3日分（推奨7日分）の備蓄を！
- 地震に備えた家づくり
 - ⇒ガラス飛散防止フィルムを貼る
 - ⇒家具転倒防止器具をつける
 - ⇒避難経路をふさがないように家具のレイアウトを工夫する



やってみよう！...の
ステップ2へ

その他の避難先



親戚や友人の家へ避難...親戚や友人を頼って避難生活をする。安全な場所に暮らす頼れる親戚や友人に日ごろから相談しておきましょう。



車中泊避難...プライバシーが確保できるなどのメリットがある一方、エコノミークラス症候群などの命にかかわる危険があります。やむをえず車中泊避難を行う際には、体調を崩さないよう水分補給やトイレの確保、適度な運動を心がけましょう。



ホテル・旅館...災害が発生した地域から離れた、安全な場所へ避難する。宿泊先の受け入れ状況を確認する。

やってみよう！...の
ステップ2へ

指定避難所



主に小中学校の体育館など。多くの人数が収容でき、備蓄倉庫がある。

避難所の備蓄倉庫の中身

アルファ化米（炊きたてのご飯を急速に乾燥させた非常食）や水、簡易トイレなどがあります。

※この米はお湯や水を注ぐだけで食べられます。



やってみよう！...の
ステップ2へ

やってみよう！ まずは小さなステップ！

ステップ① 情報を収集しよう！



地震時の自宅が安全かどうか確認しましょう！
●津波浸水警戒区域
●土砂災害警戒区域

浦添市の最新情報を受け取れるようにしておきましょう。
●避難情報

ステップ② 自宅に備蓄しよう！

沖縄県は島しょ県（県外からの支援が遅れる可能性が高い）であり7日分の備蓄が推奨されています。

まずは水・食料・便袋を用意！

一人分目安



ステップ③ 地域の避難訓練に参加

キャンプ・キンザーの中を車や徒歩で通って高台へ避難してみよう！

西海岸への大津波到達を想定した実動訓練への参加者を募集します。

応募要項

11月19日（木）
午前9時避難開始
（約1時間後到着予定）

※訓練開始場所や避難先からの送迎は行いませんのでご注意ください。

詳しくはホームページをご覧ください
応募フォームはこちら

